

2024年3月期 第3四半期

決算説明資料

共同印刷株式会社（証券コード：7914）

2024年2月7日

TOMOWEL

共にある、未来へ

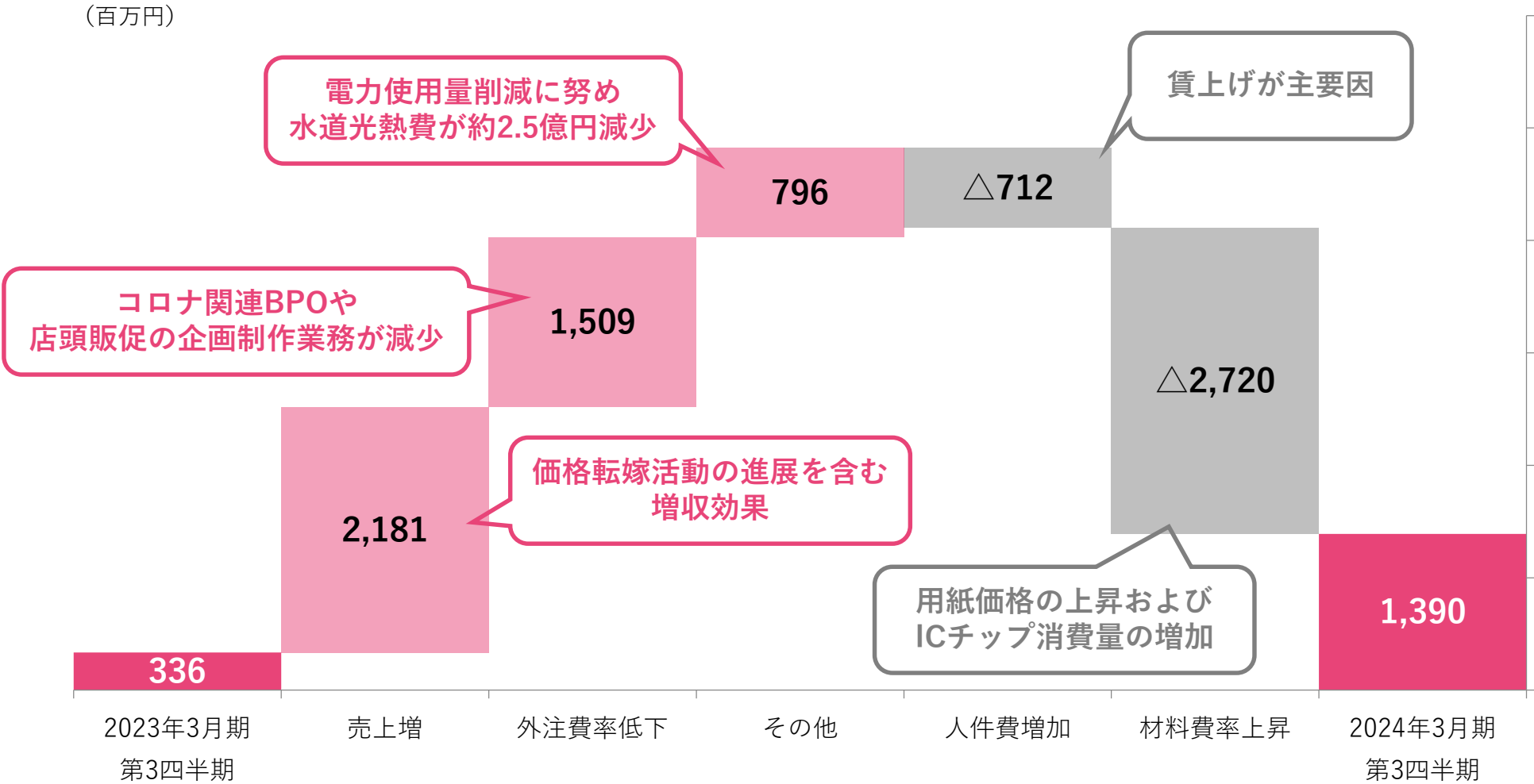
- 01 決算概要
- 02 通期業績見通し
- 03 財務情報

01

決算概要

情報コミュニケーション部門は出版印刷減少および原材料等の価格高騰影響が大きいですが、交通関連製品の増加や固定費の想定下回りが継続し、利益の進捗率は順調に推移。

	2023年3月期 第3四半期実績 (百万円)	2024年3月期 第3四半期実績	前年同期比	増減率	通期業績予想 (進捗率)
売上高	69,290	71,935	+2,644	+3.8%	101,000 (71.2%)
営業利益	336	1,390	+1,054	+313.8%	1,700 (81.8%)
経常利益	798	1,850	+1,052	+131.8%	2,200 (84.1%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	522	1,284	+761	+145.7%	1,500 (85.6%)



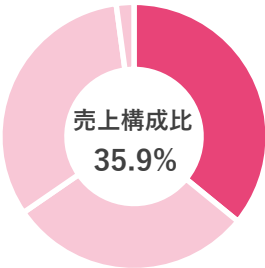
- 現状認識 2023年度は材料費のほか、電力費、人件費等により通期で約38億円のコスト増を見込む
- 取り組み方針 市況に応じた適正な価格転嫁および継続的なコストダウン活動で収益性の改善を図る
- 価格転嫁による売上増加目標額 約25億円

(対前年度／億円)	2022年度 実績	2023年度		(内訳)		
		想定	実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績
原材料・エネルギー等 価格高騰影響額	24	38 (62)	31.8 (55.8)	7.2	14.3	10.3
価格転嫁による売上増	13	25 (38)	17.9 (30.9)	4.8	5.5	7.6

※ () 内は2022年度からの累計額

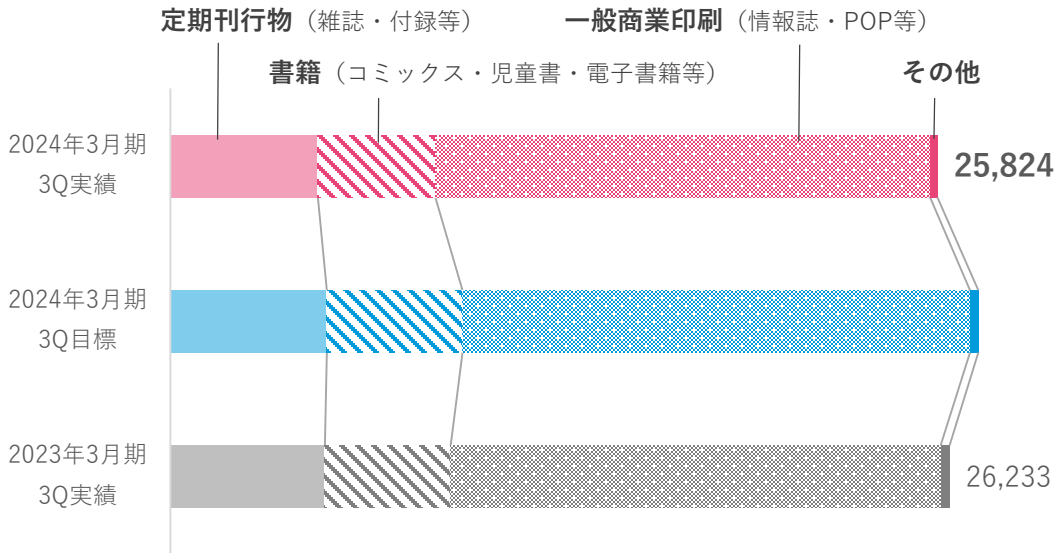
情報コミュニケーション部門の一部で交渉が進捗せず、
目標から乖離

情報コミュニケーション部門



	単位：百万円	前年同期比
売上高	25,824	(△1.6%)
営業利益	△293	(△102)

●品目別売上増減イメージ



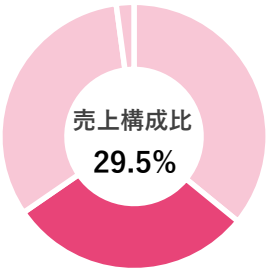
●3Qの主なポイント

- ・ 出版印刷は、定期刊行物の発行部数減少に加え、コミックスの臨時案件や重版が減少。
- ・ 一般商業印刷は、店頭販促のPOPが減少し、目標を下回る。
- ・ 受注量の減少に加え、用紙価格の上昇に対する価格転嫁の進捗も遅れていることから営業損失が拡大。

●4Qの見通し

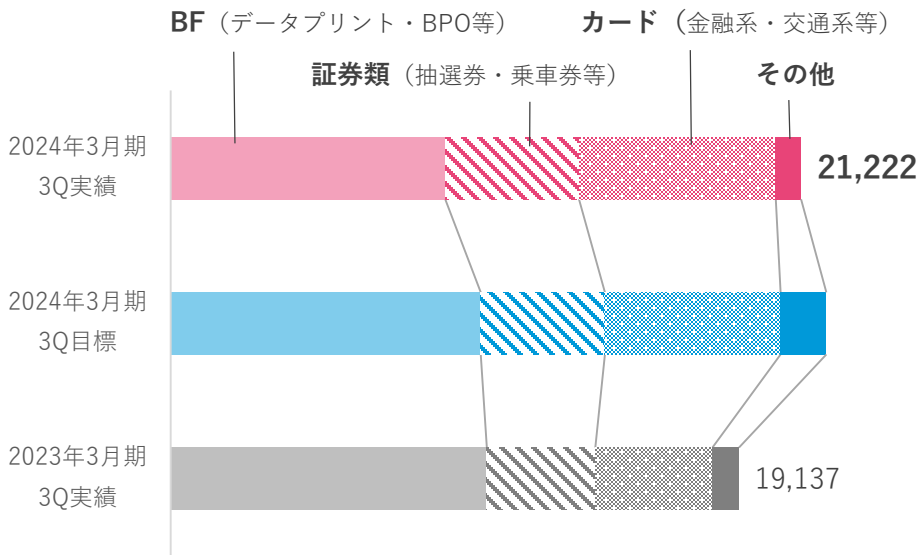
- ・ 定期刊行物、コミックスとも減少傾向が続く。映画、展示会等イベント関連受注も想定規模に至らず。
- ・ 一般商印はほぼ想定どおり。デジタル販促への対応に加え、カタログ等、紙媒体も堅調。
- ・ 通期は出版印刷の減少や価格転嫁の遅れが影響し、売上・利益とも当初予想を下回る見通し。

情報セキュリティ部門



	単位：百万円	前年同期比
売上高	21,222	(+10.9%)
営業利益	1,228	(+697)

●品目別売上増減イメージ



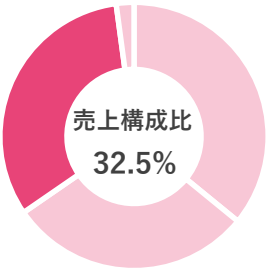
●3Qの主なポイント

- ・データプリント・BPOは、目標に届かず苦戦。各種通知物や試験関連業務は着実に取り込むも、金融機関向け新規BPO等で伸び悩み。コロナ関連受注の減少を補うまでには至らず。
- ・旅客需要の回復が顕著。乗車券や交通系ICカードが大幅伸長。
- ・営業利益は、交通関連製品の増収効果や価格転嫁活動の進展、コスト削減活動の成果を含めた固定費の想定下回りなどから前年・目標とも上回り。

●4Qの見通し

- ・データプリント・BPOは、実施時期の先送り等で低調な推移が見込まれ、セグメント利益への影響が予測される。
- ・一方、需要回復に伴う交通系製品のさらなる伸長を見込む。
- ・通期では、売上高は当初予想に未達。利益は4Qで上積みが鈍化する懸念はあるも、予想は上回る見通し。

生活・産業資材部門

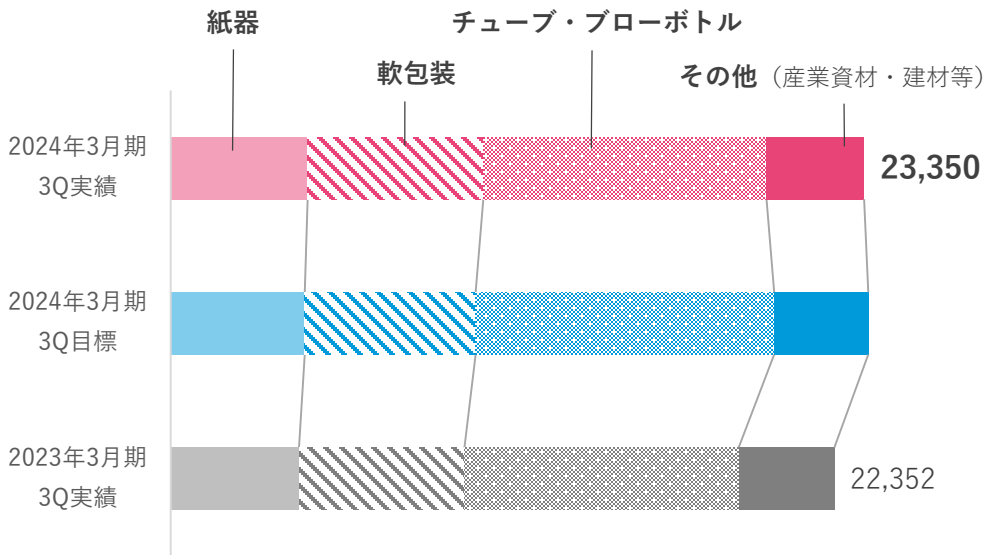


単位：百万円 前年同期比

売上高 : 23,350 (+4.5%)

営業利益 : 741 (+770)

●品目別売上増減イメージ



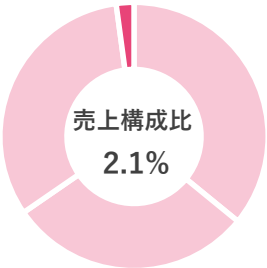
●3Qの主なポイント

- ・紙器は、ラップカートンが業務用とPB品増加で堅調。
- ・軟包装は、パーシャルオープンが好調に推移。
- ・チューブは、化粧品向けが回復傾向も目標未達。
- ・産業資材は、医薬品向けの海外需要が拡大。
- ・営業利益は、価格転嫁活動の進展に加え、固定費が想定以下の水準で推移したことから、目標上回り。

●4Qの見通し

- ・紙器、軟包装は第3四半期までと同傾向で推移。
- ・チューブは、化粧品向けの増加により伸長を見込む。
- ・通期では、売上高は当初予想並み。利益は中東情勢等の影響による資源価格の動向に注意を要するが、予想を上回る見通し。

その他部門



	単位：百万円	前年同期比
売上高	1,537	(△1.9%)
営業利益	126	(△73)

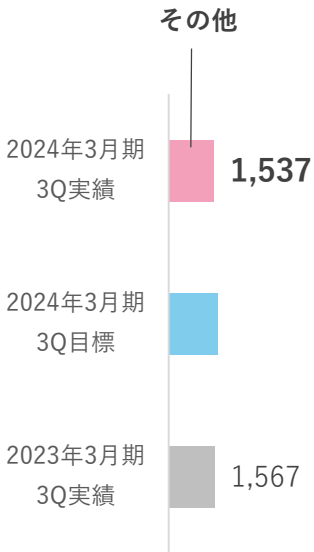
●3Qの主なポイント

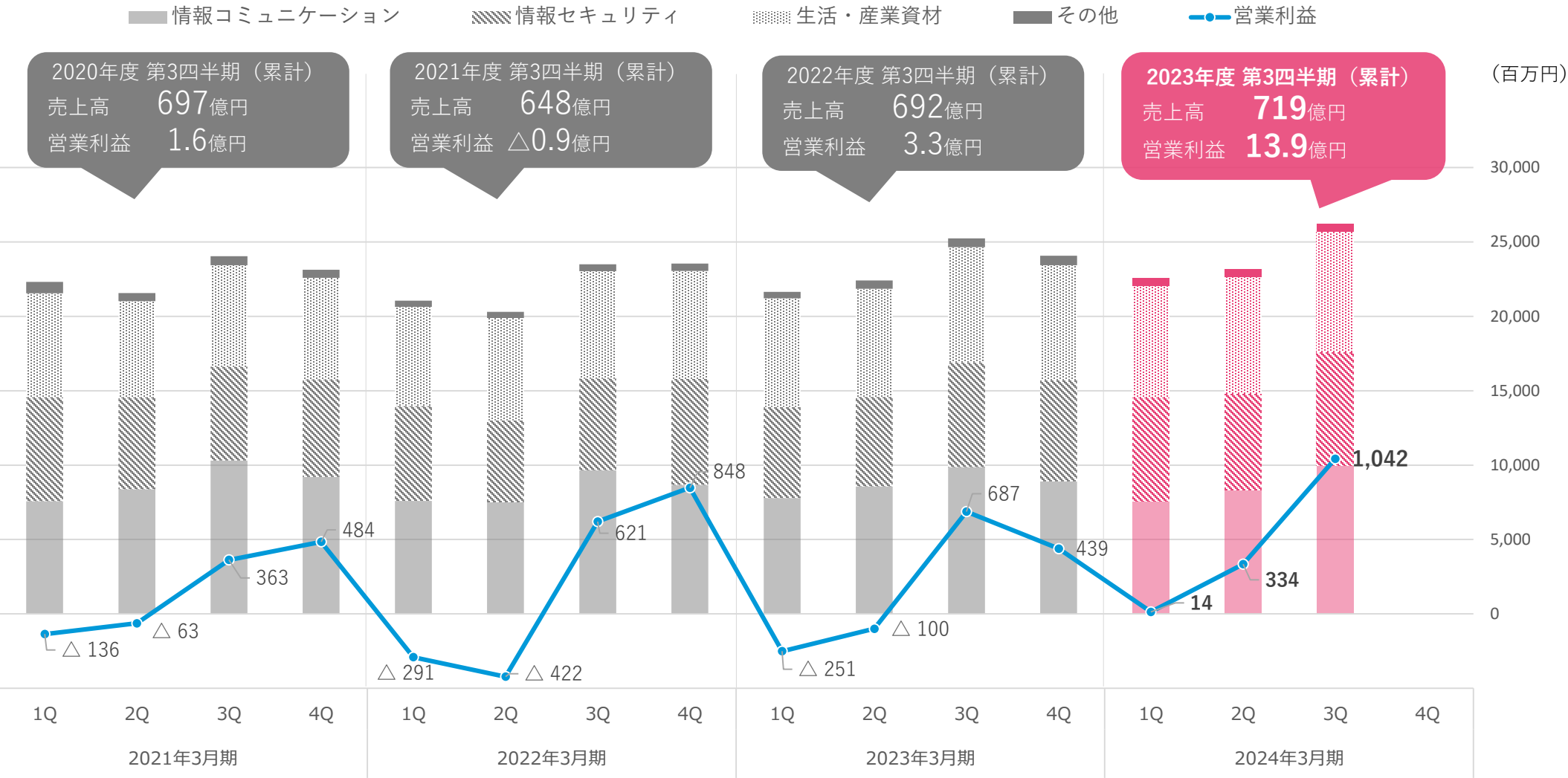
- ・ 物流関連事業は、印刷物関連の輸送業務が低調。倉庫業務やアッセンブリセット作業等の物流加工分野も目標には至らず。
- ・ 不動産賃貸収入は計画どおり進捗。

●4Qの見通し

- ・ 物流関連事業は、第3四半期までと同傾向で推移。引き続き、化粧品・医療・医薬関連業界向け事業拡大に注力。
- ・ 不動産賃貸収入は計画どおりの見通し。

●品目別売上増減イメージ





注：2021年度期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。

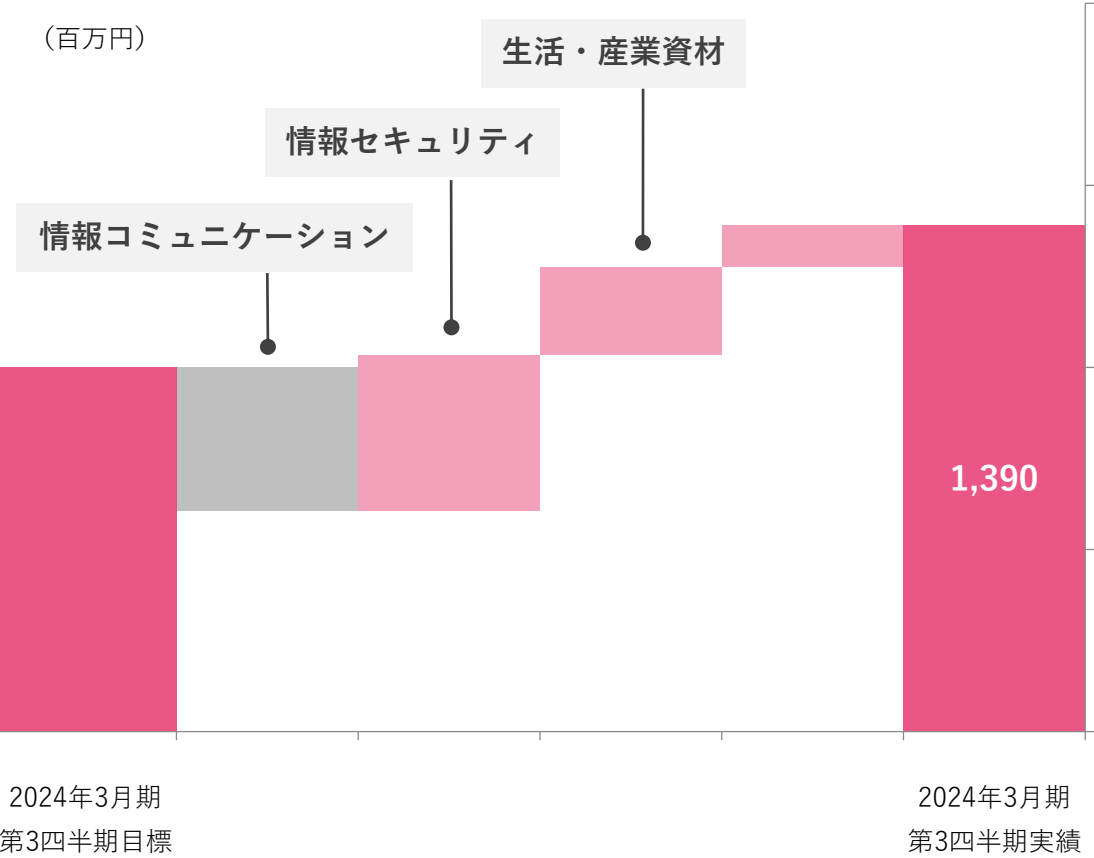
02

通期業績見通し

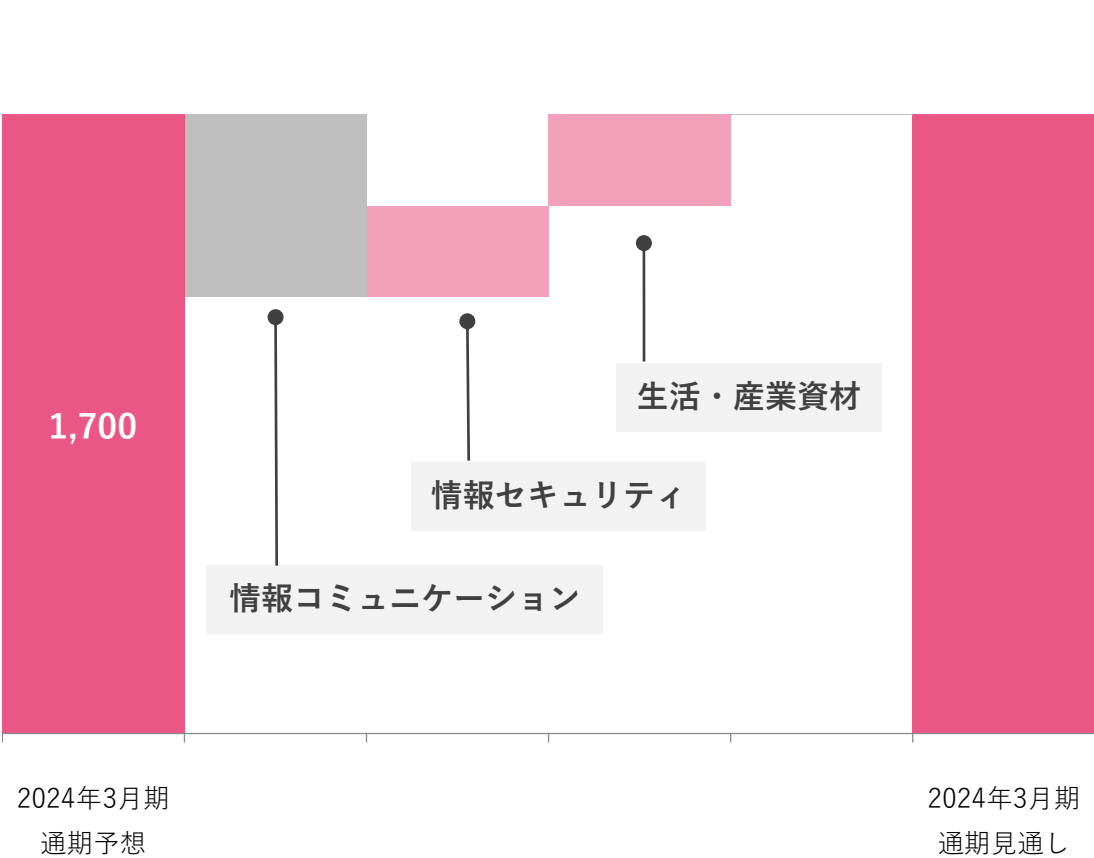
出版印刷の低迷やBPOの伸び悩みが依然として予測される一方で、
交通関連製品の需要増のほか、各種パッケージの堅調な推移が今後も見込まれる。
(現時点で通期業績予想は変更なし)

(百万円)	通期			(参考)	
	前年実績	業績予想	(伸長率)	3Q累計実績	(進捗率)
売上高	93,363	101,000	(108.2%)	71,935	(71.2%)
営業利益	775	1,700	(+ 924)	1,390	(81.8%)
経常利益	1,289	2,200	(+ 910)	1,850	(84.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,253	1,500	(+ 246)	1,284	(85.6%)

●セグメント別 利益増減実績（対 第3四半期業績目標）



●セグメント別 利益増減見通し（対 通期業績予想）

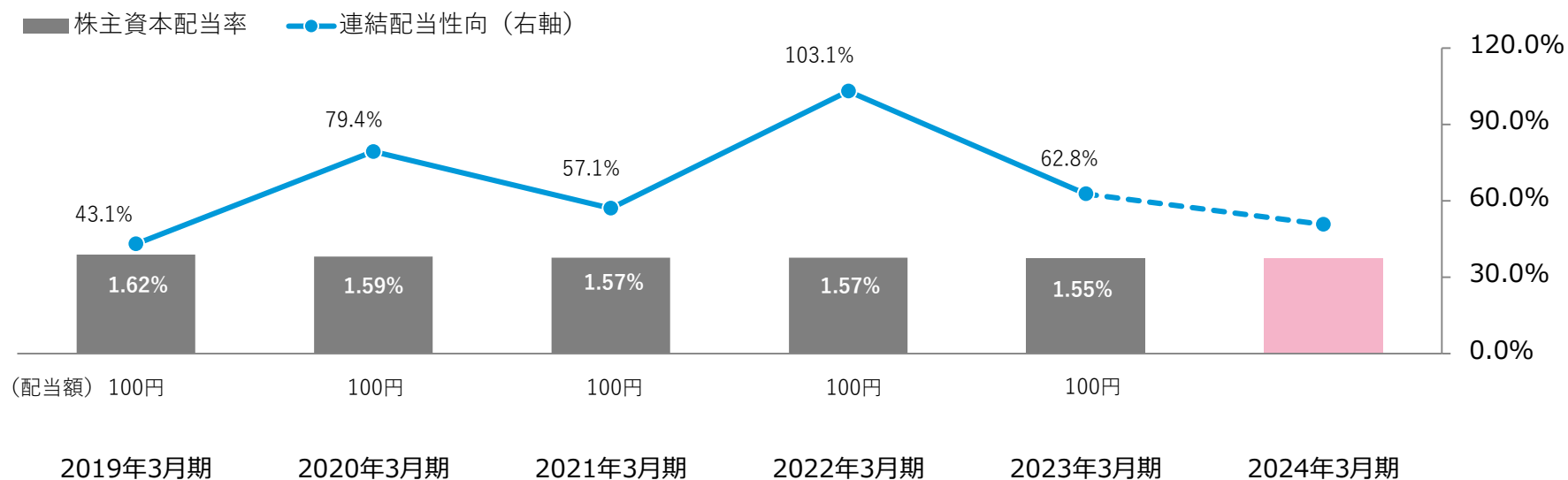


●2024年3月期の配当について

- ・2024年3月期の配当は**当初予想から変更なし**

以下の方針に基づき、**1株あたり100円**（中間50円 期末50円）を予定

※利益配分につきましては、株主の皆さまへの安定的・継続的な利益還元を重視しつつ、企業体質の強化に向けて必要な内部留保とあわせて総合的に判断しており、配当は、連結業績、配当性向のほか、株主資本配当率（D O E）の視点等も踏まえて決定します（中期経営計画においては、配当性向30％以上を目標）



●自己株式取得の目的

経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図る

2023年11月8日開催の取締役会において決議しました自己株式の取得については、以下のとおり終了いたしました。

2023 年11 月8 日開催の取締役会における決議内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 450,000株（上限） ※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.7% |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 1,200,000,000円（上限） |
| (4) 取得期間 | 2023年11月9日から2024年5月31日まで |
| (5) 取得方法 | ①東京証券取引所における市場買付け
②東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT－3）による買付け |

上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計（2024 年2 月1 日現在）

- | | |
|----------------|-----------------|
| (1) 取得した株式の総数 | 354,500 株 |
| (2) 株式の取得価額の総額 | 1,199,698,500 円 |

03

財務情報

(百万円)	2022年3月期 期末	2023年3月期 期末	2024年3月期 第3四半期末	前期末比	主な増減内容
流動資産	44,025	45,912	47,659	1,746	・ 売上債権 +1,309
固定資産	85,095	77,558	80,749	3,191	・ 投資有価証券 +4,685
資産合計	129,121	123,471	128,409	4,938	—
流動負債	44,531	33,800	27,856	△5,943	・ 仕入債務 △1,371 1年内償還予定の社債 △3,000
固定負債	23,312	31,951	39,621	7,670	・ 社債 +5,000 長期借入金 +1,211
負債合計	67,843	65,751	67,477	1,726	—
株主資本	52,393	51,919	51,550	△368	・ 利益剰余金 +499 自己株式 △867
その他の包括利益累計額	8,765	5,770	9,353	3,583	・ その他有価証券評価差額金 +3,230
非支配株主持分	118	30	27	△3	—
純資産	61,277	57,720	60,931	3,211	—
負債純資産合計	129,121	123,471	128,409	4,938	—
自己資本比率	47.4 %	46.7 %	47.4%	0.7P	—

(百万円)	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	当期の主な増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,729	19,995	656	・ 仕入債務の増減 △1,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,410	△5,614	△2,582	・ 有形及び無形固定資産の取得 による支出 △2,733
フリーキャッシュ・フロー	△1,680	14,381	△1,926	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,000	△15,256	1,225	・ 長期借入れによる収入 +3,054 ・ 長期借入金の返済による支出 △1,834 ・ 社債の発行、償還 +1,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	6	7	—
現金及び現金同等物の増減額	△4,694	△868	△693	—
現金及び現金同等物の期首残高	12,760	8,890	10,500	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,065	8,022	9,807	—

当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、
経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績予想などは、作成時点において当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績予想などとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意ください。

【お問い合わせ先】

共同印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : koho@kyodoprinting.co.jp

Webサイト : <https://www.kyodoprinting.co.jp/>